

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			児童の数が増えてきたので、体操時に手狭に感じる日もできました。机をどかすなどの工夫をして安全に室内運動をできるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			3月から4月にかけて児童の数が急激に増えたため、必要であれば他事業所からヘルプをもらうことで対応していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		安全面を考慮したスライド式のドアなどはあるが、車いすを想定したスロープ等はありません。今後、利用者の増加に合わせて検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			児童の登室前に支援会議を開き、目標設定と振り返りを指導員全員で行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			平成30年10月開所だったため、今回が初めてのアンケート調査となります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は行っておりません。今後の課題となります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			水泳研修などを随時行っております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者からの聞き取りと児童との実際の触れ合いの中で得た情報を、指導員間で共有し、話し合った結果を計画に反映しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	複数の視点からの評価は行っていますが、標準化されたアセスメントツールは使用していません。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			専門性の高い部分は資格をもっている者や経験がある者が中心となって立案をしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童の成長に合わせて、プログラムを変えています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休暇はお出かけの計画を立てるなどして、平日にはできない支援をやっていく予定です。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		10月開所のためまだモニタリングを行う時期にはきていませんが、準備はできています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				引継ぎの書類などを見せてもらい、事業所での支援に生かしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		まだ卒業した児童がいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			相談支援センターを利用している保護者に関しては連携を図っていますが、相談支援員さんがついている児童の数が極めて少ないのが現状です。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		今後の課題となります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		今後の課題となります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		今後の課題となります。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			○	室内での安全面でのご指摘をいただくことがあり、それについては随時対応させていただきましたが、周知を行っておりませんでした。改善を図っていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	長期休暇前の行事予定などは発信していますが、定期的な会報はまだ実施しておりません。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後はそうした行事の企画を検討しております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			避難経路図などの提示に不十分な点があり、速やかに改善を図ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		最初の訓練は夏ごろを予定しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	現在、身体拘束が必要と思われる児童がいないためそうした決定や説明はなされていませんが、今後それが必要と思われた場合は随時行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			